



宮城おおさき移住支援センター NEWS LETTER

おおさき暮らしを
始めた方の
今を伝える

VOL.01
OCT, 2025

東京イベント開催のお知らせ！！首都圏在住のご家族にぜひお声がけを🎵

二地域居住×孫ターン

～自分に合った移住スタイルを発見～

大崎市に移住された方をゲストにお迎えし、ご自身が移住するまでの”物語”をたっぷりお話しいたします。実際の移住体験を聴ける貴重なチャンスです！

【開催情報】

日時：10月25日(土) 午後1時～午後3時

会場：「OFF TOKYO」

東京都中央区日本橋小伝馬町21-1

THE PORTAL Nihombashi East 2F

参加費：1,000円

お問い合わせ：宮城おおさき移住支援センターCU:RUS

☎ 0229-25-4493



ゲスト

やまぐち しんいち
山口 慎一さん

(株)ユナイト
鳴子農園 代表



東京都出身。金融業界に22年勤務。
社会課題の関心から大崎市鳴子温泉地域に移住し、二地域居住を開始。土地を自ら開拓し、2024年に自家農産物を使ったジェラート店とキャンプ場をオープン。



ゲスト

ぬまぐち あさこ
沼口 麻子さん

シャークジャーナリスト

東京都出身。大学時代にダイビングで巨大サメに遭遇し魅了される。エンジニアを経てサメ専門ジャーナリストとして独立し、世界中の海取材。2023年に祖父母の家を相続して大崎市岩出山地域へ移住。現在「サメの学習施設」開設を計画中。

プログラム

オープニング

- ・宮城おおさき移住支援センター CU:RUSとは
- ・ゲスト紹介

ゲストトーク

- ・山口さんトーク→質問タイム
- ・沼口さんトーク→質問タイム

ディスカッション

- ・隣の人と話してみよう

大崎市の豪華景品プレゼント/
特別イベント開催
OJBR!

クロージング

- ・大崎市へ行ってみよう

OJBRとは…大崎ちゃんけんバトルロワイヤル

移住のカタチは一つじゃない

移住だって、好きなカタチでOK!
大崎で新しい一歩を /

UIJターンとは？

『移住者』というと遠くから来た人を思い浮かべますが、最近では地元に戻ることも、移住の一つと考えられています。今回は、UIJターンについてご説明します！

Uターン

都市部に出た後、生まれ育った地元に戻ることに。

Iターン

地元ではない地方に新しく移り住むことに。

Jターン

都市部に出た後、地元ではないけれど、その近くの地方に移住すること。



宮城おおさき移住支援センター CU:RUSからのお知らせ

宮城おおさき移住支援センター CU:RUS は、大崎市への移住のサポートを行う窓口です。
空き家バンクも同じ事務所にありますので、移住のご相談や空き家の登録については、ぜひこちらまでお越しください。

《住所》 宮城県大崎市古川米倉字屋敷42-1

(NPO法人おおさき地域創造研究会事務所内)



大崎市空き家バンク
空き家登録募集中

空き家は時間が経つにつれて老朽化が進み、管理が難しくなります。手遅れになる前にぜひ対策を講じましょう。大崎市空き家バンクでは、市内の空き家物件の登録情報を募集しています。空き家の売却や賃貸をお考えの方はぜひ一度、宮城おおさき移住支援センターCU:RUSまでご相談ください。





カナダの風吹く移動カフェ
Cafe The Maple

たむら なつき

田村 夏希 さん

宮城県大崎市松山出身。

2020年に大崎市にUターン

カナダのカフェでバリスタとして働いていた経験をもとに、現地で味わった美味しさを皆さんに届けたいと思い、大崎市を拠点に移動販売を始める。

大崎市内外のイベントに多く出店。

優しい甘さのロンドンfogが絶品。

Uターン起業！地元で広がった人の輪

大崎市松山地域出身の田村夏希さんは、留学先のオーストラリアでコーヒー文化に触れた後、次の留学先のカナダでバリスタの修行をするという海外経験を経てキッチンカー事業を始めました。開業にあたり「人の集まる場所へ行こう」と、東京や熱海など都心部での出店を検討していましたが、準備期間中に飲食店を営む同級生から「まずは地元でやってみたら？」というアドバイスを受け、実家のある大崎市松山地域を拠点とすることを決意しました。

大崎市でキッチンカーを出店してみると、想像以上に多くの人が足を運んでくれたといいます。同級生や知人をはじめ、親世代の知り合いやきょうだいの友人たちも訪れ、顔なじみの来店者の輪が自然と広がっていききました。地元での人のつながりが飲食店に欠かせない口コミ効果を後押しし「聞いてきたよ」と立ち寄りの方が途切れることはなく、キッチンカーはいつも賑わっています。

夏希さん自身も「こんなに地元の人に支えられていたとは思わなかった」と驚きつつ、感謝の気持ちを語ってくれました。

松山のまちをもっと楽しくする挑戦

さらに、キッチンカーを通して地元の人との交流が増えることで、地域への愛着も深まったそうです。

「小さい頃から親しんできた松山で、今度は自分子どもたちに楽しい思い出を届けられるのは、本当に嬉しいことです」と夏希さんは話します。

大崎市内外で多数のイベントに参加している夏希さんですが、地元松山でお祭りの実行委員として夏まつりを盛り上げたり、おおさき元気戦略推進委員会のメンバーとして、大崎市の将来を見据えたまちづくりに関わっていただいています。

カナダの風吹く移動カフェ
Cafe The Maple

大崎市内外のイベントに多数出店。毎週金曜日は道の駅おおさきにも出店中。

出店スケジュールや詳しい情報はInstagramをチェックしてください！



発行：宮城おおさき移住支援センターCU:RUS（くーらす）

運営：NPO法人おおさき地域創造研究会（大崎市業務受託団体）

宮城県大崎市古川米倉字屋敷42-1 9:00～17:00 土日祝休

☎ 0229-25-4493

✉ info@osaki-ijyu-support.jp

